

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成28年3月30日（水）

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム 光富士白苑	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	施設長 内藤勲敏	開設年月日	昭和46年6月28日
設置者	社会福祉法人 光富士白苑	定員	100名
所在地	〒743-0022 光市虹ヶ浜2-5-7		
電話番号	0833-71-3090	FAX番号	0833-71-3196
ホームページアドレス	<a href="http://www.h-fuji.com">http://www.h-fuji.com</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

今回が3回目の第三者評価受審であり、積極的に福祉サービスの質の向上に取り組まれていると高く評価される。法人・施設の基本理念・方針に沿った利用者を尊重した福祉サービスの提供姿勢が、理事長・施設長をはじめとした職員皆さんからうかがえた。歴史の長い施設であるが、多くのマニュアルが整備され、組織としてサービスの標準化された仕組みが出来ている。

また、職員が働きやすいように、産休・育休の取得促進や資格助成などの取組が実施されており、離職率が低い職場となっている。

地域ともよく連携されており、避難訓練を地元自治会と合同で実施されている。また、住民からの要望に基づき行政受託事業廃止後も、引き続き低額による給食サービスを行っており、地域公益活動にも積極的に取り組まれている。

#### ◇改善を求められる点

中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されていない。施設の方向性を明確にしていくことが、経営の安定及び職員・利用者の精神的安定にもつながると考える。法人としての理念および基本方針の明確化のもと、早い時期に中・長期目標が策定されることを期待する。また、施設運営の透明性の観点から事業報告や地域の福祉向上のための取組をホームページや広報誌等を活用して周知していく必要がある。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

平成21年から23年にかけて施設の建て替えを行い、ハードソフト共に大きな変化があつて以降、初めて受審した第三者評価でした。常日頃、当たり前と思つて行つていくことに対して客観的に評価され、自施設の強み弱みを認識することができました。強みはおごることなくさらに高め、弱みは真摯に受け止め改善を行います。地域貢献に力を入れ、利用者様・ご家族様に更なる安心と信頼をいただける施設となるよう、また職員が誇りを持って気持ちよく仕事に従事できる職場にするよう、今回の受審を生かしてまいります。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	2	b	4	c	3	Na	0
<p>理念や基本方針が明文化されており、その内容を職員が共有されるように取り組まれている姿勢がうかがえる。事業実績報告においては、事業全体の動向や、利用者の状況、経営状況の分析などを行い、経営環境の変化に適切に対応されている。また、自己点検表により、年に1回自己評価を行っており、福祉サービスの質の向上へ向けて、積極的な姿勢がうかがえる。</p>								

II 組織の運営管理	a	13	b	5	c	0	Na	0
<p>施設長自ら、施設内を巡回し利用者や職員と接する中で、施設内の問題提起を行うなど、管理者としてのリーダーシップを発揮されておられる。新規卒業者と中途採用者に分類して職員研修計画を策定されており、職員の育成にも力を入れている。また、女性の多い職場でもあり、職員が出産後も仕事を続けられるように、ワーク・ライフ・バランスに配慮しており、育児休暇の取得や、産業医の配置により健康上や悩み相談の窓口を設置して、働き続けたいと思える職場環境に努めている。地域との交流も盛んに行われており、地域のニーズに基づき貢献活動として給食サービスを実施されている。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	18	b	0	c	0	Na	0
<p>理念や基本方針、介護サービスのマニュアルの文書からも、職員全体が利用者を尊重した福祉サービスを実施していく姿勢がうかがえる。また、火災だけでなく地震や高潮等の災害も想定した避難訓練を、消防、警察、地元自治会とも実施しており、災害時に近隣団体等との連携体制が取られている。日頃から地域との交流が盛んに行われていることで、住民に施設の存在を理解いただいていることがうかがえる。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	32	b	2	c	0	Na	0
<p>利用者に応じてコミュニケーションの方法が工夫されている。利用者の余暇活動としてプログラムを用意されているが、利用者の趣味、興味、希望に応じて自由に余暇活動を選択したり、その他の活動への支援も行っている。居室は私物の持ち込みが自由となっており、利用者が過ごしやすいようにしている。ハード面においては、トイレやお風呂も冷暖房が設置され、臭気を感じさせないように、空調も工夫され、室内も広く、利用しやすいつくりとなっている。</p>								